

## 研究・調査報告書

分類番号		報告書番号	担当
A-110	A-136	22-071	滋賀医科大学社会医学講座公衆衛生学部門 三浦克之
<b>題名（原題／訳）</b>			
Longitudinal Trajectories of Alcohol Consumption with All-Cause Mortality, Hypertension, and Blood Pressure Change: Results from CHNS Cohort, 1993-2015 飲酒量と総死亡、高血圧、血圧変化の縦断的トラジェクトリー：CHNS コホート 1993-2015			
<b>執筆者</b>			
Qiu W, Cai A, Li L, Feng Y.			
<b>掲載誌</b>			
Nutrients. 2022 Nov 29;14(23):5073. doi: 10.3390/nu14235073.			
<b>キーワード</b>			<b>PMID</b>
総死亡、高血圧、トラジェクトリー			36501103
<b>要 旨</b>			
<p><b>目的：</b>飲酒量と総死亡率、高血圧とのJ字関連が指摘されているが、多くの研究が欧米における1回の飲酒測定の結果に基づいている。長期間の飲酒量のトラジェクトリー（推移、軌道）と総死亡率、高血圧、血圧変化との関連を明らかにする。</p> <p><b>方法：</b>1993-2015年の大規模な中国健康栄養調査において飲酒量のトラジェクトリーモデリングを実施した。Cox否定ハザードモデルおよび二値ロジステック回帰にて総死亡率、高血圧との関連を検討した。非線形の関連についてはrestricted cubic splineを用いて検討した。飲酒量トラジェクトリークラス間の血圧変化について多変量調整一般化線形混合モデルで検討した。</p> <p><b>結果：</b>5298人の参加者のうち、47%が女性、平均年齢は63歳だった。22年の追跡期間中、11%が死亡し、24%が高血圧を発症した。長期の少量および適量飲酒者は、非飲酒者に比べて低い死亡リスクを示し、cubic splineはJ字型関連を示した。少量および適量飲酒者では血圧上昇が遅かったが、高血圧発症リスクは前者で低かった。長期間の多量飲酒者は血圧も死亡率も最も高かった。</p> <p><b>結論：</b>少量飲酒は長期間でも予防的に働き、多量飲酒は良い効果をなくした。因果関係についてのさらなる研究が必要である。</p>			